

健康横浜 2 1 計画評価及び次期計画策定検討部会 委員名簿

本部会は、健康横浜 2 1 推進会議における「第 2 期健康横浜 2 1」の最終評価及び「第 3 期健康横浜 2 1」の策定に係る審議に向け、第 2 期計画の評価案及び第 3 期計画案を検討することを目的とします。

なお、市民の健康寿命の更なる延伸を目指し、「第 3 期健康横浜 2 1」については、これまで別に策定していた「横浜市食育推進計画」と、「横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例」に基づき新たに策定する「横浜市歯科口腔保健推進計画（仮称）」と一体的に策定します。総合的な市民の健康づくりの指針として策定し、取組を推進していきます。

【任期：令和 5 年 3 月 31 日まで】（五十音順・敬称略・令和 3 年 7 月 20 日現在）

	役職・委員種別	氏名	職名
1	委員	佐藤 信二	一般社団法人 横浜市歯科医師会 常務理事
2	委員	瀬戸 卓	一般社団法人 横浜市薬剤師会 副会長
3	委員	田口 敦子	慶應義塾大学 看護医療学部 教授
4	委員	長谷川 利希子	公益社団法人 神奈川県栄養士会 副会長
5	委員	渡邊 豊彦	一般社団法人 横浜市医師会 副会長
6	臨時委員	赤松 利恵	お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授
7	臨時委員	後藤 温	公立大学法人 横浜市立大学 学術院 医学群 教授
8	臨時委員	土屋 厚子	静岡県立社会健康医学大学院大学 研究アドバイザー 浜松医科大学 特任研究員
9	臨時委員	村山 洋史	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長

令和3年度 健康横浜21関係課長会議 名簿

区・局	補 職	氏 名
旭区	福祉保健課長	石津 雄一郎
政策局	政策課担当課長	吉池 玲美
市民局	スポーツ振興課長	守屋 喜代司
経済局	経営・創業支援課長	高柳 友紀
こども青少年局	こども家庭課親子保健担当課長	戸矢崎 悦子
こども青少年局	企画調整課長	田口 香苗
健康福祉局	企画課長	栗屋 しらべ
健康福祉局	福祉保健課長	新井 隆哲
健康福祉局	保険年金課長	海老原 雅司
健康福祉局	生活支援課指導・適正化対策担当課長	大内 直人
健康福祉局	障害施策推進課長	佐渡 美佐子
健康福祉局	こころの健康相談センター長	白川 教人
健康福祉局	高齢健康福祉課長	鳥居 俊明
健康福祉局	地域包括ケア推進課長	鴨野 寿美夫
健康福祉局	健康安全課健康危機管理担当課長	平 佳子
健康福祉局	食品衛生課長	牛頭 文雄
健康福祉局	衛生研究所感染症・疫学情報課長	小野 範子
医療局	医療政策課長	山本 憲司
医療局	がん・疾病対策課長	古賀 美弥子
環境創造局	農業振興課長	朝倉 友佳
道路局	企画課交通計画担当課長	藤江 千瑞
道路局	交通安全・自転車政策課長	石井 高幸
教育委員会事務局	教育課程推進室長	山本 朝彦
教育委員会事務局	健康教育・食育課長	永井 隆

事務局

局	補 職	氏 名
健康福祉局	健康安全部健康推進担当部長	嘉代 佐知子
	保健事業課健康づくり担当課長	岩松 美樹
	保健事業課長	羽田 政直
	保健事業課事業推進担当課長	東 健一
	保健事業課担当課長	阿部 響
	保健事業課健康づくり担当係長	矢島 陽子
	保健事業課健康づくり担当係長	山田 和子
	保健事業課担当係長	中村 周平
	保健事業課担当係長	和泉 大
	保健事業課担当係長	村山 伸昭
	保健事業課担当係長	池田 達哉
	衛生研究所感染症・疫学情報課担当係長	岡本 佳子

健康横浜 2 1 推進会議運営要綱

制 定 平成 24 年 3 月 1 日 健保事第 3964 号 (局長決裁)

最近改正 平成 29 年 4 月 1 日 健保事業第 4107 号 (局長決裁)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、横浜市附属機関設置条例 (平成 23 年 12 月横浜市条例第 49 号) 第 4 条の規定に基づき、健康横浜 2 1 推進会議 (以下、「推進会議」という。) の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(担当事務)

第 2 条 横浜市附属機関設置条例第 2 条第 2 項に規定する委員会の担任する事務の細目については、次に掲げるものとする。

- (1) 健康増進計画である健康横浜 2 1 (以下、「健康横浜 2 1」という。) の推進に関すること。
- (2) 健康横浜 2 1 の評価・策定に関すること。

(委員)

第 3 条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 保健医療専門家
 - (3) 健康に関連するボランティア団体・企業等の各種団体の代表者
 - (4) マスメディアの代表者
- 2 委員の任期は、5 年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 委員の代理は、認めないものとする。

(臨時委員)

第 4 条 推進会議に、健康横浜 2 1 の評価・策定や健康づくりに関する事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

- 2 臨時委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。
- (1) 学識経験者
 - (2) 保健医療専門家
 - (3) 健康に関連するボランティア団体・企業・各種団体の代表者等
- 3 臨時委員は、第 1 項の事項に関する調査審議が終了したときは、解任され

たものとする。

(会長)

第5条 推進会議に会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、推進会議を代表し、会務を掌理する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議の会議は、会長が招集する。

- 2 会長は、推進会議の議長とする。
- 3 推進会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 推進会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

(部会)

第7条 健康横浜21について調査審議するために部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長が指名する委員及び臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長1人を置き、委員及び臨時委員の互選によりこれを定める。
- 4 第6条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中の「会長」とあるのは「部会長」と、「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。
- 5 部会の委員構成や議事内容等を踏まえ、推進会議の会長が認める範囲において、前項に基づく部会の決定を推進会議の決定に代えることができる。

(会議の公開)

第8条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）第31条の規定により、委員会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第9条 会長又は部会長は、推進会議又は部会の会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第10条 推進会議の庶務は、健康福祉局健康安全部保健事業課において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行後最初の委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。また、最初の部会の会議は、会長が招集する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

第2期健康横浜21最終評価に向けた目標値の収集状況について

○第2期計画における基本目標(1)及び行動目標(17)・・・資料3-2を参照

○第2期計画における目標値(27)と数値変化の判断基準

- ・目標値一覧(資料3-2)
- ・数値変化の判断基準(A、B、Cは中間評価と同様、Dは今回追加)

数値変化		計画策定時と直近値の数値変化(目標値と照らし合わせた変化)
A	目標に近づいた	ア 目標値達成
		イ 統計的に判断した結果、確かに数値が改善 ウ 統計的な判断ができないが3%以上の改善があったもの
B	変化なし	ア 統計的に判断した結果、差がない
		イ 統計的な判断ができないが3%未満の変化
C	目標から離れた	ア 統計的に判断した結果、確かに数値が悪化したもの
		イ 統計的な判断ができないが3%以上の悪化があったもの
D	評価が困難	基準が変更、調査項目変更に伴い、評価が困難であるもの

○現時点における最終評価の概況<H25策定時とR2最終評価時の比較として> ※精査のため修正があり得る

分野	目標値に対する市民意識調査等の評価結果	数値変化
基本目標 (健康寿命)	確認中 (目標値:平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加) 【参考】中間評価 男性:健康寿命の伸びが0.49年、下回った 女性:健康寿命の伸びが0.09年、上回った	
生活習慣の改善	食生活 B変化なし 朝食を食べている小・中学生の割合 C目標から離れた 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	BとC
	歯・口腔 Aア目標値達成 12歳児の一人平均のむし歯数、60歳代でなんでも噛んで食べることのできる者の割合、3歳児でむし歯がない者の割合 B変化なし 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	Aが多め
	喫煙・飲酒 Aア目標値達成 未成年者と同居する者の喫煙率(男性、全体)、成人の喫煙率(女性)、飲食店の受動喫煙 A目標に近づいた 成人の喫煙率(男性)、家庭・職場・行政機関・医療機関の受動喫煙、COPDの認知度、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 B変化なし 未成年者と同居する者の喫煙率(女性)	Aが中心だが、集計中も多い
	運動 Aア目標値達成 運動やスポーツを週3日以上行う小学5年生の割合 A目標に近づいた ロコモティブシンドロームの認知度、定期的に運動する20~64歳(全体、男性) B変化なし 定期的に運動する20~64歳(女性)、同65歳以上(女性) C目標から離れた 定期的に運動する65歳以上(全体、男性)	バラつきが見られ、集計中も多い
	休養・こころ A目標に近づいた 睡眠による休養を十分にとれていない者の割合 C目標から離れた 睡眠が6時間未満の小学5年生の割合	世代により異なる
生活習慣病の重症化予防 (健診・検診)	Aア目標値達成 がん検診の受診率:肺(男性)、乳、子宮 A目標に近づいた がん検診の受診率:胃、肺(女性)、大腸、特定健診の受診率	Aのみ

第2期健康横浜21における基本目標及び行動目標の数値一覧（未確定：とりまとめ中）

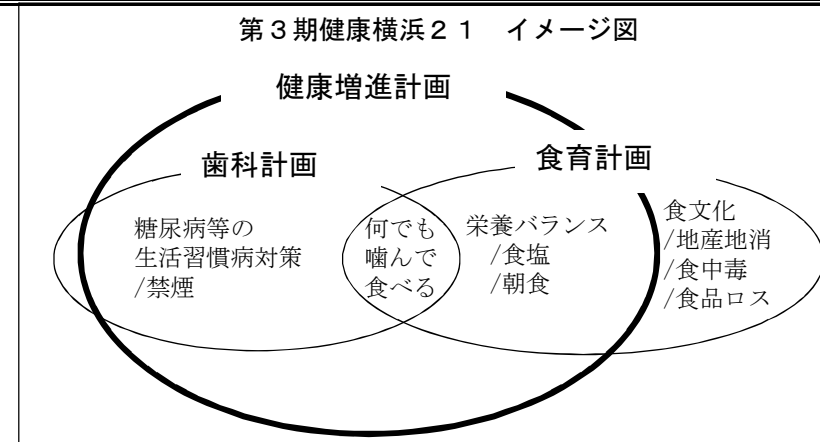
資料3-2

行動目標No.	指標No.	ライフステージ			基本目標・行動目標	指標	目標値	H25年 策定時値	H28年 中間評価時値	R2年 最終評価時値	最新 年度	策定時と 中間評価時の 比較	中間評価時と 最終評価時の 比較	策定時と 最終評価時の 比較	出典	関連する 「健康日本21 (第2次)」 目標値	「健康日本21 (第2次)」 策定時値	
		子育て 期	子育て 後	高齢 期														
0	1				健康寿命を延ばす	(健康寿命)	健康寿命 男性70.93年 女性74.14年	健康寿命 男性71.52年 女性74.48年	確認中	H28	男性+0.59 女性+0.34	確認中	確認中	国民生活基礎調査 (横浜市分)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	健康寿命 男性70.42年 女性73.62年		
						(平均寿命)	平均寿命 男性80.29年 女性86.79年	平均寿命 男性81.37年 女性87.04年	確認中	H28	男性+1.08 女性+0.25	確認中	確認中	人口動態統計(横 浜市分)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	平均寿命 男性79.55年 女性86.30年		
						平均寿命の増加分 と健康寿命の増加 分の差			確認中			確認中	確認中					
食生活																		
1	2	●			3食しっかり 食べる	朝食を食べている 小・中学生の割合	100%に近づける	94.0%	93.3%	93.3%	R2	B	B	B	横浜市食育目標に 関する調査	100%に近づける	84.5%	
6	11	●	●		野菜たっぷり 、塩分量な め	1日の野菜摂取量	350g	271g	287g	集計中		B			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	350g	282g	
	12	●	●			1日の食塩摂取量	8g	10.7g	10.3g	集計中		B			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	8g	10.6g	
7	13	●			バランスよく 食べる	主食・主菜・副菜を組み合わせた 食事が1日2回以上の日がほぼ 毎日の者の割合	80%	男性40.6% 女性42.1%	男性41.3% 女性44.5%	男性33.3% 女性35.6%	R2	男性:B 女性:A	男性:C 女性:B	男性:C-A 女性:C-A	健康に関する市民 意識調査	80%	68.1%	
歯・口腔																		
2	3	●			しっかり噛んで 食後は歯磨き	3歳児でむし歯のない者の割合	90%	83.9%	87.5%	90.7%	H30	A	B	A-A	横浜市保健統計年 報	23都道府県	6都道府県	
	4	●				12歳児の1人平均むし歯数	維持・減少傾向へ	0.55歯	0.4歯	0.33歯	R1	A	A	A-A	横浜市学校保健資 料	28都道府県	7都道府県	
9	10	●			定期的に 歯のチェック	40歳代における進行した 歯周炎を有する者の割合	維持・減少傾向へ	21.0%	26.6%	集計中		判定不能			県民歯科保健実態 調査 (横浜市分)	25%	37.3%	
	14	●	●			過去1年間に歯科健診を受診し た者の割合	65%	43.6%	—	集計中		—			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	65%	34.1%	
8	22	●			「口から食べる」 を維持する	60歳代でなんでも噛んで食べる ことのできる者の割合	80%	67.7%	76.9%	集計中	H28	A			県民歯科保健実態 調査 (横浜市分)	80%	73.4%	
							【参考】 男性80.8% 女性86.6%	男性84.7% 女性90.6%	男性89.6% 女性92.0%	R2	—	男性:A 女性:B	男性:A-A 女性:A-A	【参考】 健康に関する市民 意識調査	80%	73.4%		
9	23	●			定期的に 歯のチェック	80歳で20歯以上自分の歯を有する 者の割合	50%	今後把握	—	未調査(参考)に60 歳で24歯以上を 集計中)	—	—	—	D	健康に関する市民 意識調査	50%	25%	
							36.2%	47.3%	集計中		B			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	50%	25%		
喫煙・飲酒																		
3	5	●			受動喫煙を 避ける	未成年者と同居する者の 喫煙率	減少傾向へ	男性29.9% 女性10.5% 全体21.0%	男性31.1% 女性12.2% 全体22.3%	男性25.9% 女性10.1% 全体18.6%	R2	男性:B 女性:B	男性:A 女性:B	男性:A-A 女性:B-A 全体:A-A	健康に関する市民 意識調査	—	—	
10	15	●	●		成人の喫煙率	12%	18.7%	—	集計中	—	—				国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	12%	19.5%	
							20.0%	19.7%	16.5%	R1	B	A	A	国民生活基礎調査 (横浜市分)	12%	19.5%		
	16	●	●		禁煙に チャレンジ	非喫煙者のうち日常生活の中で 受動喫煙の機会を 有する者の割合	家庭3.6%	11.5%	—	集計中	—	—				国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	家庭3%	10.7%
							9.9%	9.4%	8.5%	R2	B	B	A-I	【参考】 健康に関する市民 意識調査	家庭3%	10.7%		
							職場0%	32.0%	—	集計中	—	—			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	職場0%	64.0%	
							14.7%	14.9%	8.7%	R2	B	B	A-I	【参考】 健康に関する市民 意識調査	職場0%	64.0%		
							飲食店17.2%	54.7%	—	集計中	—	—			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	飲食店15%	50.1%	
							41.8%	35.7%	8.6%	R2	A	A	A-A	【参考】 健康に関する市民 意識調査	飲食店15%	50.1%		
	行政機関0%	5.6%	6.6%	4.5%	R2	C	B	A-I	健康に関する市民 意識調査	行政機関0%	16.9%							
	医療機関0%	0.6%	0.5%	0.4%	R2	B	B	A-I	健康に関する市民 意識調査	医療機関0%	13.3%							
17	●	●			COPDの認知度	80%	男性33.3% 女性41.0%	男性33.8% 女性38.9%	男性47.2% 女性55.1%	R2	男性:B 女性:C	男性:A 女性:A	男性:A-I 女性:A-I	健康に関する市民 意識調査	80%	25%		
11	18	●	●		お酒は適量	生活習慣病のリスクを高める量 を飲酒している者(1日当たり 純アルコール摂取量が男性40g 以上、女性20g以上の者)の割 合	男性14%	16.9%	16.9%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	男性14%	15.3%	
						19.2%	19.5%	男性16.4%	R2	B	A	A-I	【参考】 健康に関する市民 意識調査	男性14%	15.3%			
						女性6.4%	7.0%	9.9%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・ 栄養調査 (横浜市分)	女性6.4%	7.5%		
						16.6%	15.7%	女性13.5%	R2	B	B	A-I	【参考】 健康に関する市民 意識調査	女性6.4%	7.5%			

行動目標No.	指標No.	ライフステージ			基本目標・行動目標	指標	目標値	H25年 策定時値	H28年 中間評価時値	R2年 最終評価時値	最新 年度	策定時と 中間評価時の 比較	中間評価時と 最終評価時の 比較	策定時と 最終評価時の 比較	出典	関連する 「健康日本21 (第2次)」 目標値	「健康日本21 (第2次)」 策定時値	
		育ち・ 遊び	子育て・ 学び	働き														
運動																		
4	6	●			毎日楽しく からだを動かす	運動やスポーツを週3日 以上行う小学5年生の割合	増加傾向へ	男子49.7% 女子25.8%	男子49.3% 女子31.9%	男子51.9% 女子32.9%	R1	男子：B 女子：A	A	A-ア	横浜市小中学校児童生徒体力・運動能力調査	増加傾向へ	男子61.5% 女子35.9%	
12	8	●			あと1,000歩 歩く	20～64歳で1日の歩数が 男性9,000歩以上、 女性8,500歩以上の者の割合	男性50%	46.8%	41.7%	集計中	H28	C			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	男性9,000歩	7,841歩	
							女性50%	41.7%	30.8%	集計中	H28	C			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	女性8,500歩	6,883歩	
13	9	●			定期的に 運動をする	20～64歳で、1日30分・週2回以上 の運動(同等のものを含む) を1年間継続している者の割合	全体34%	26.8%	27.3%	集計中	H28	B				国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	全体34%	24.3%
								24.6%	24.3%	26.9%	R2	B	B	A-イ	【参考】健康に関する市民意識調査	全体34%	24.3%	
							男性36%	25.4%	27.3%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	男性36%	26.3%	
								27.1%	26.7%	30.4%	R2	B	A	A-イ	【参考】健康に関する市民意識調査	男性36%	26.3%	
							女性33%	27.5%	27.3%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	女性33%	22.9%	
								21.7%	21.4%	22.7%	R2	B	B	B-ア	【参考】健康に関する市民意識調査	女性33%	22.9%	
14	24	●			歩く・ 外出する	65歳以上で1日の歩数が 男性7,000歩以上、 女性6,000歩以上の者の割合	男性50%	46.9%	40.7%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	男性7,000歩	5,628歩	
							女性40%	34.6%	48.7%	集計中	H28	A			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	女性6,000歩	4,585歩	
	25	●			65歳以上で、1日30分・週2回以上 の運動(同等のものを含む) を1年間継続している者の割合	全体52%	46%	【参考】 51.7%	集計中	H28	A				国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	全体52%	41.9%	
							52.4%	53.7%	44.1%	R2	A	C	C-ア	【参考】健康に関する市民意識調査(65～69歳)	全体52%	41.9%		
						男性58%	60.9%	【参考】 57.8%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	男性58%	47.6%		
							53.1%	57.3%	41.2%	R2	A	C	C-ア	【参考】健康に関する市民意識調査	男性58%	47.6%		
						女性48%	33.3%	【参考】 45.2%	集計中	H28	A			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	女性48%	37.6%		
							51.7%	50.5%	46.9%	R2	A	C	B-ア	【参考】健康に関する市民意識調査	女性48%	37.6%		
26	●				ロコモティブシンドロームの 認知度	80%	男性16.2% 女性24.1%	男性27.8% 女性40.8%	男性28.3% 女性40.4%	R2	男性：A 女性：A	男性：B 女性：B	男性：A-イ 女性：A-イ	健康に関する市民意識調査	80%	17.3%		
休養・こころ																		
5	7	●			早寝・早起き	睡眠が6時間未満の小学 5年生の割合	減少傾向へ	男子6.1% 女子3.6%	男子6.7% 女子4.1%	男子7.2% 女子5.1%	R1	男子：B 女子：B	C	C	横浜市小中学校児童生徒体力・運動能力調査	—	—	
15	19	●	●		睡眠とって しっかり休養	睡眠による休養を十分とれて いない者の割合	15%	21.6%	【参考】 20.2%	集計中	H28	B			国民(県民)健康・栄養調査(横浜市分)	15%	18.6%	
								男性38.2% 女性34.0%	男性40.2% 女性36.0%	男性28.4% 女性28.4%	R2	男性：C 女性：C	男性：A 女性：A	男性：A-イ 女性：A-イ	【参考】健康に関する市民意識調査	15%	18.6%	
健診・検診																		
16	20	●	●		定期的に がん検診を 受ける	胃・肺・大腸がん検診40～69歳の 過去1年間	新目標 胃50% (旧目標40%)	男性36.7%	男性52.5%	男性47.3%	R1	A	C	A	国民生活基礎調査(横浜市分)	胃40%	男性36.6%	
								女性27.0%	女性33.2%	女性37.7%	R1	A	A	A	国民生活基礎調査(横浜市分)	胃40%	女性28.3%	
							胃40%	【参考】 男性43.8% 女性29.9%	男性44.1% 女性32.0%	調査なし	H28	—	—	—	【参考】健康に関する市民意識調査	胃40%	女性28.3%	
							新目標 肺50% (旧目標40%)	男性23.7%	男性54.9%	男性52.6%	R1	A	B	A-ア	国民生活基礎調査(横浜市分)	肺40%	男性26.4%	
								女性18.2%	女性36.4%	女性43.2%	R1	A	A	A	国民生活基礎調査(横浜市分)	肺40%	女性23.0%	
							肺40%	【参考】 男性30.0% 女性22.2%	男性31.6% 女性24.8%	調査なし	H28	—	—	—	【参考】健康に関する市民意識調査	肺40%	女性23.0%	
							新目標 大腸50% (旧目標40%)	男性24.4%	男性49.0%	男性48.8%	R1	A	B	A	国民生活基礎調査(横浜市分)	大腸40%	男性28.1%	
								女性18.7%	女性35.1%	女性40.6%	R1	A	A	A	国民生活基礎調査(横浜市分)	大腸40%	男性28.1%	
							大腸40%	【参考】 男性32.1% 女性27.8%	男性34.8% 女性31.8%	調査なし	H28	—	—	—	【参考】健康に関する市民意識調査	大腸40%	女性23.9%	
							乳がん検診 40～69歳の 過去2年間	乳50%	41.5%	45.7%	51.6%	R1	A	A	A-ア	国民生活基礎調査(横浜市分)	乳50%	39.1%
								【参考】 54.0%	53.4%	調査なし	H28	—	—	—	【参考】健康に関する市民意識調査	乳50%	39.1%	
							子宮がん検診 20～69歳の 過去2年間	子宮50%	39.6%	46.1%	52.2%	R1	A	A	A-ア	国民生活基礎調査(横浜市分)	子宮50%	37.7%
	【参考】 53.4%	51.1%	調査なし	H28	—	—	—	【参考】健康に関する市民意識調査	子宮51%	37.7%								
17	21	●	●		1年に1回 特定健診を 受ける	特定健診受診率(40歳以上の横 浜市国民健康保険加入者)	新目標40.5% (旧目標35%)	19.7%	21.9%	25.4%	R1	B	A	A	横浜市国民健康保険特定健診法定報告	第2次医療費適正化計画に含ませて 設定	41.3%	

- 今回の主な議論**→ 論点1：第3期計画にとって重要となるキーワードが網羅されているか（最終評価と新たな健康課題を踏まえて）。
 論点2：歯科口腔保健推進計画、食育推進計画との一体的策定（溶け込まず部分、別計画部分）として成り立っているか。
 論点3：論理的一貫性があり、市民に理解される構成になっているか。
 論点4：優先して取り組む健康課題に対して、実現可能性が高く効果を見込める取組が提案できているか。

- **計画期間** 令和5年度(2023年度)から令和〇年度（〇年度）の〇年間 ※現時点では、次期健康日本21の計画期間は不明
- **基本理念** 全ての市民に向けて、乳幼児期から高齢期まで継続して、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防の取組を行うとともに、健康を守り支える環境づくりを行うことで、健やかな生活を送ることのできる市民を増やします。
- **基本目標** 健康寿命の延伸と健康格差の縮小（健康格差の縮小に向けた取組、目標値、評価方法は要検討）
- **優先して取り組む健康課題**（最終評価を踏まえて加筆修正／市民の行動目標、目標値にリンクさせていく）



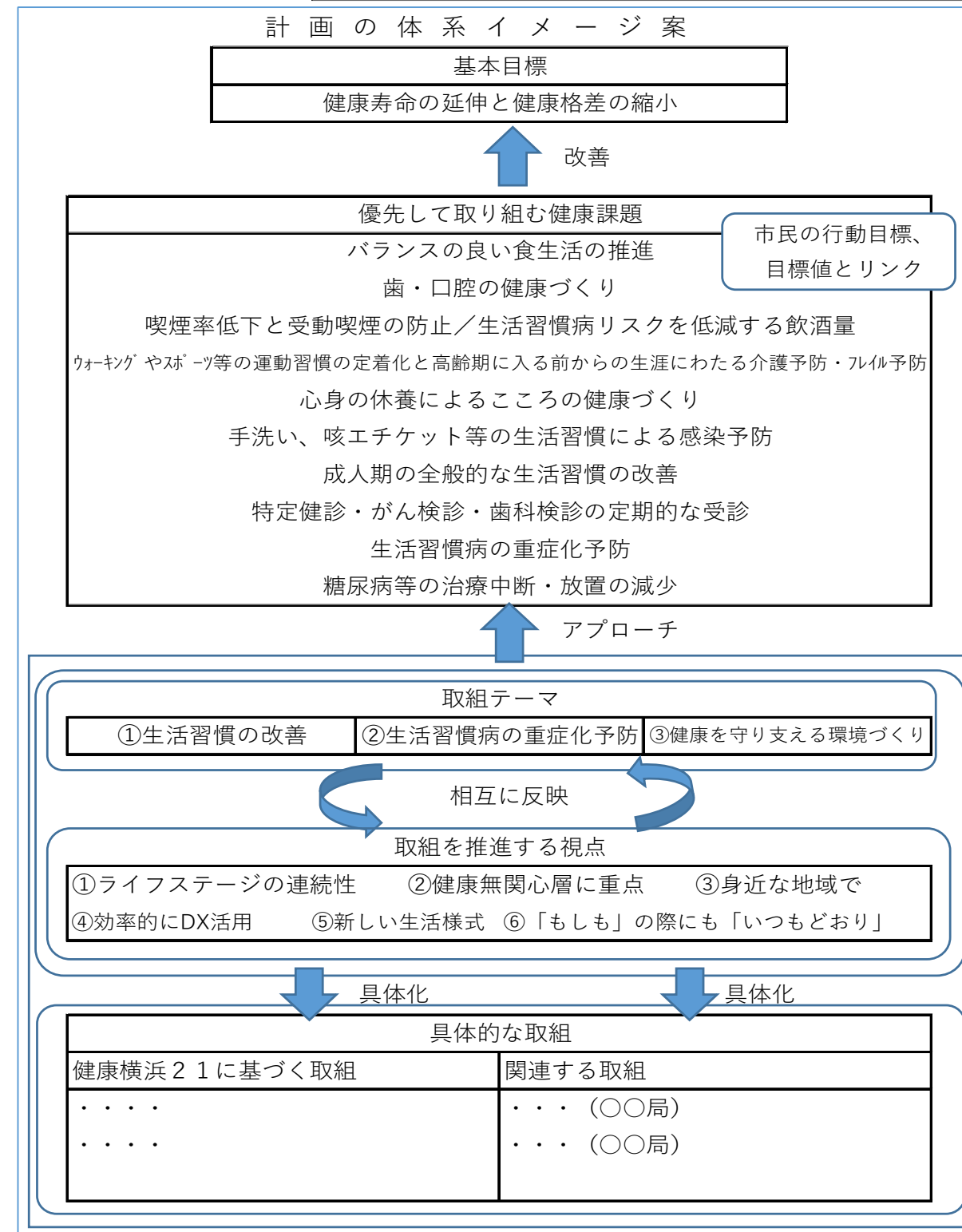
- **基本目標**
 - バランスの良い食生活の推進
 - 歯・口腔の健康づくり
 - 喫煙率低下と受動喫煙の防止／生活習慣病リスクを低減する飲酒量
 - ウォーキングやスポーツ等の運動習慣の定着化と高齢期に入る前からの生涯にわたる介護予防・フレイル予防
 - 心身の休養によるこころの健康づくり
 - 手洗い、咳エチケット等の生活習慣による感染予防
 - 成人期の全般的な生活習慣の改善
 - 特定健診・がん検診・歯科検診の定期的な受診
 - 生活習慣病の重症化予防
 - 糖尿病等の治療中断・放置の減少

■ **取組テーマ**

- ① 生活習慣の改善
 - 健康増進の基本である「食生活」「歯・口腔」「喫煙・飲酒」「運動」「休養・こころ」「感染予防」の6つの分野から、生活習慣の改善にアプローチします。
- ② 生活習慣病の重症化予防
 - 特定健診、がん検診、歯科検診の普及を進め、糖尿病、高血圧、がん、歯周病等の初期には自覚症状がない生活習慣病を早期発見し、その後の保健指導や治療につなげます。
- ③ 健康を守り支える環境づくり（仕掛けづくり／環境整備）
 - 市民が自然に健康づくりにつながる選択をするための、インセンティブ（意欲を引き出す刺激や動機付け）の提供、バリアの低減、アクセスの改善を図ります。
 - また、市民が健全な食生活を送るために、食育関係者と共に持続可能な食を支える食環境づくり（健康な食事ができる環境への改善、地場産物の活用、食品ロスの削減、和食文化の伝承、食品の安全性）を推進します。

■ **取組を推進する視点**（具体的な取組は今後検討）

- ① ライフステージの連続性
- ② 健康無関心層等に重点を置いたポピュレーションアプローチ
- ③ 人と人とのつながりを通じた身近な地域の気軽な健康づくり
- ④ 便利で効率的な健康づくりのサポート（AI活用、DX活用、データ活用）
- ⑤ 時代に応じた新しい働き方やライフスタイルに合わせた健康づくり
- ⑥ 災害時や感染拡大時等の「もしも」の際にも「いつもどおり」に取り組める健康づくり



＜第2期健康横浜21の概要＞（第3期計画の骨子案作成の参考となる部分を要約して抜粋）

■ 計画期間

平成25年度(2013年度)から34年度(令和4年度・2022年度)の10年間

■ 策定の経過

第1期(平成13年9月～)。平成18年10月に計画の見直し・修正。平成22年10月に一部増補、計画期間を24年度まで延長。

■ 基本理念、基本目標

(基本理念) すべての市民を対象に、乳幼児期から高齢期まで継続して生活習慣の改善や、生活習慣病の重症化予防を行うことで、いくつになってもできるだけ自立した生活を送ることのできる市民を増やします。

(基本目標) 10年間にわたり健康寿命を延ばします。

■ 現状からみた主な課題

- ・死因の約6割を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が占める。
- ・脳血管疾患は、要介護状態となる最も大きな原因疾患。
- ・高血圧症、脂質異常症、糖尿病等の発症予防や合併症の予防なども含め、生活習慣病に着目した取組の重要性は増している。
- ・高齢化の進展により、生活習慣病のリスクはますます増大すると考えられる。
- ・単独世帯の増加などにより、要介護者が増加した場合の社会的負荷が高まると考えられる。

■ 取組テーマ

- ① 生活習慣の改善(健康増進の基本である「食生活・食育」「歯・口腔」「喫煙・飲酒」「運動」「休養・こころ」の5つの分野から、生活習慣の改善にアプローチします)
- ② 生活習慣病の重症化予防(がん検診、特定健診の普及を進めます)

■ 計画を推進する視点

- ① ライフステージに合わせた取組
- ② 「きっかけづくり」と「継続支援」を目指した取組
- ③ 区の特性を踏まえ、さまざまな関係機関・団体と連携した取組

■ 解決に向けた視点

- ・健康に関する意識・知識が行動につながりやすい環境を整えることが重要
- ・働く世代のライフスタイルに大きな影響を及ぼす職域等も含め、関係機関・団体と連携
- ・地域の健康づくり活動に主体的に関わる市民を増やす、身近な場で健康相談を受けられる環境やソーシャルキャピタルの醸成等を含め、地域全体で取り組む環境づくりが重要
- ・市全体の方向を踏まえた、区の特性に応じた取組の工夫が必要

■ 行動目標の設定

		育ち・学びの世代 (乳幼児期～青年期)	働き・子育て世代 (成人期)	移りの世代 (高齢期)
生活習慣の改善	食生活	3食しっかり食べる	野菜たっぷり・塩分少なめ バランス良く食べる	「口から食べる」を維持する
	歯・口腔	しっかり噛んで食後は 歯磨き	定期的に歯のチェック	
	喫煙・飲酒	受動喫煙を避ける	禁煙にチャレンジ お酒は適量	
	運動	毎日楽しく からだを動かす	あと1,000歩、歩く 定期的に運動する	歩く・外出する
	休養・こころ	早寝・早起き	睡眠とってしっかり休養	
生活習慣病の重症化予防			定期的のがん検診を受ける 1年に1回 特定健診を受ける	